

主要産地における令和3年産水稻の生育状況等について 第2報 (6月4日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和3年6月4日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)
北海道	(育苗・移植)	<p>【生育状況 (5月20日現在)】</p> <p>(全道) 苗の生育は平年並で、出芽の良否はやや良。また、一部地域で移植作業が始まった。(北海道農政部 5月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。</p> <p>(農林水産省 3月23日) (出典資料は以下同じ)</p>
青森	(生育)	<p>【5月31日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つがるロマン」は草丈が23.0cmで平年より1.5cm長く、株当たりの茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.3葉で平年並であった。 ・「青天の霹靂」は草丈が23.7cmで0.1cm短く、株当たりの茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.0葉で0.3葉少なかった。 ・「まっしぐら」は草丈が22.8cmで0.3cm短く、株当たりの茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.1葉で0.1葉少なかった。 <p>(地独) 青森県産米技術センター農林総合研究所 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがるロマン」及び「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり令和3年産も同様の傾向になると考えられる。</p>
岩手	(移植・初期生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の田植え盛期は、5月17日頃で平年並み。 ・田植え時の苗の草丈は、北上川下流及び東部(播種4/15頃、移植5/13頃)では平年に比べ短く、北上川上流と北部(播種4/16頃、移植5/21頃)は育苗期間後半の高温の影響で平年より長くなった。 ・田植え盛期の5月中旬以降気温が高く推移したことから、活着は平年並みに良好となっている。 <p>(岩手県 5月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「銀河のしずく」が耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城	(移植・初期生育)	<p>【5月27日現在】[県全体の平均]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月27日現在の県全体の田植進捗率は98.3%となっている。田植終期は5月21日であった。(宮城県 5月28日付) <p>【6月1日の生育調査結果(美里地区)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月第1~第2半旬に強風の日があり、葉先枯れが見られたほ場があったが、5月の気温が平均より高めで推移したこともあり、生育は順調に推移している。(宮城県美里農業改良普及センター 6月2日付) <p>【6月1日の生育調査結果(気仙沼地区)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内の生育調査ほにおける6月1日現在の生育は、草丈が概ね平年並、㎡当たり茎数が植付本数が多くなったほ場を除き概ね平年並。移植後の活着は順調であり、分けつも確認され始めている。(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月2日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、近年、収量水準の高い「銀のり」が増加傾向にある。</p>
秋田	(移植)	<p>(由利) 5月25日現在、田植え作業の進捗率は85.1%、直播播種作業の進捗率は100%。(5月28日付)</p> <p>(秋田) 田植え作業は9割以上終了。(5月28日付)</p> <p>(山本) 5月30日現在の田植作業の進捗状況は、98.3% (6月4日付)</p> <p>(仙北) 田植え作業は5月23日が盛期(平年並み) (5月28日付)</p> <p>(雄勝) 田植えの盛期は平年より1日早い5月24日に迎えた。(6月1日付)</p> <p>(平鹿) 田植え作業の始期(進捗率5%)は平年並の5月19日となり、5月20日現在の進捗率は13.4%。(5月21日付)</p> <p>(鹿角) 5月20日現在、田植作業の進捗率は39.0%(平年38.2%)であり、田植作業の始期は5月16日(平年5月17日) また直播作業の進捗率は95.5%(前年92.4%)であり、直播作業の盛期は5月16日(前年5月16日)、終期は5月20日(前年5月22日)。(5月21日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(移植・初期生育)	<p>(鶴岡田川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬の天候により、茎数・波数はやや遅れぎみ (庄内総合支庁 農業技術普及課 6月3日付) <p>(酒田・飽海)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後、活着は順調に進み、全般に平年並の生育となっている。(酒田農業技術普及課 6月2日付) <p>(最上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内の移植作業は、平年よりやや早い進捗となっている。(最上総合支庁 農業技術普及課 5月19日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(育苗・移植)	<p>【5月10日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植栽培の播種作業は、始期(5%終了)が4月8日(平年差-1日)、盛期(50%終了)が4月16日(平年差±0日)、終期(95%終了)が4月25日(平年差±0日)で平年並。苗の生育は概ね順調。4月下旬より田植えが始まっている。(福島県 5月20日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「茨のつぶ」が増加傾向となっている。</p>
茨城	(生育)	<p>【水戸】(5月31日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日付)</p> <p>(4月30日移植)「あきたこまち」平年並、「コシヒカリ」1日遅い、「ふくまるSL」平年並。(5月10日移植)「コシヒカリ」1日遅い。</p> <p>【龍ヶ崎】(5月27日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月2日付)</p> <p>(4月27日移植)「あきたこまち」1日遅い、「ふくまるSL」1日遅い、「コシヒカリ」1日遅い。(5月7日移植)「コシヒカリ」2日遅い。</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日~7月4日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あさひの夢」及び「ふくまる」が増加傾向となっている。</p>

	生育状況等		
栃 木		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「なすひかり」及び「とちぎの星」が増加傾向にある。
千 葉	<p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬は気温が高く推移したことから、生育の遅延(葉齢の進み)は平年並みとなっている。しかし、5月中下旬の日照不足の影響を受け、生育量は少なめに推移している。 ・6月植えの「コンヒカリ」は平年並に推移し、生育は順調。 <p>(生育)</p> <p><葉齢の進み(平年比)></p> <p>「ふさおとめ(4月20日植)」並、「ふさこがね4月20日植)」並、「コンヒカリ(4月20日植)」並、「コンヒカリ(5月1日植)」並、「粒すけ(4月20日植)」並。</p> <p>(千葉県 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。
新 潟	<p>【5月31日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンヒカリでは指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「やや長い」莖数は「少ない」、葉数の進みは「並」の状況。 ・新之助では指標値に比べ、草丈は「短い」、莖数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」状況。(新潟県 6月1日付) <p>(生育)</p> <p>(岩 船) (5月31日現在) 草丈は「やや長い」、莖数は「少」、葉数の進みは「指標値並～やや早い」(村上農業普及指導センター 5月31日付)</p> <p>(魚 沼) (5月31日現在) 田植え後の低温や日照により、活着・分けつの発生は緩慢で、地域差やほ場間差が見られる。(魚沼農業普及指導センター 5月31日付)</p> <p>(南魚沼) (5月31日現在) 田植え後は、気温はやや低め、少日照で推移し、生育は緩慢。(南魚沼農業普及指導センター 6月1日付)</p> <p>(佐 渡) (5月31日現在) 生育の平均値は指標値以上で順調。ただし移植の遅いほ場では分けつの発生が停滞している。(佐渡農業普及指導センター 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「こしいふき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」、「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。
富 山	<p>【本田での生育状況】(6月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンヒカリ 平年に比べて、草丈はやや短く、莖数はかなり少なく、葉齢はかなり遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、莖数、葉色は平年並みとなっている。 ・てんたかく 平年に比べて、草丈は並、莖数はかなり少なく、葉齢はかなり遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、莖数、葉色は平年並みとなっている。 ・てんこもり 平年に比べて、草丈は並、莖数はかなり少なく、葉齢はかなり遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は長く、莖数は少なく、葉色は並みとなっている。 ・富富富 近年に比べて、草丈は短く、莖数はかなり少なく、葉齢はかなり遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、莖数及び葉色は近年並みとなっている。(富山県 6月1日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「富富富」が増加傾向にある。
石 川	<p>【5月28日調査】</p> <p>(葉齢展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンヒカリは平年に比べ3日程度遅く、前年と比べ4日程度遅い。 ・ゆめみづほは平年と比べ2日程度遅く、前年より2日程度遅い。 ・ひやくまん親は近年と比べ2日程度遅く、前年と比べ3日程度遅い。 <p>(生育)</p> <p>(石川県農林総合研究センター 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん親」が増加傾向にある。
福 井		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「ハナエマセン」を中心とする品種構成である。なお新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
長 野		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。
滋 賀		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。

生育状況等			
兵 庫		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> ・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。 (岡山県 5月27日付) <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 中国地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 中国地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 四国地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
高 知	<ul style="list-style-type: none"> ・早期稲(生育：並) 県下全体では生育は順調ではあるものの、一部の地域では5月上旬の低温の影響で生育の停滞や障害が見られた。また、スクミリンゴガイの被害が各地で見られている。 ・普通期稲(生育：並) 移植最盛期は5月第6半旬頃でほぼ平年並となる見込みであったが、平年よりも早い梅雨入りの影響で、作業が遅れ気味である。曇雨天の影響により、一部の地域では育苗中の苗に徒長などの障害や苗いもちの発生が見られている。移植後の生育は概ね順調である。 (高知県病害虫防除所 6月4日付) <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 四国地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
福 岡	<p>【5月14日現在】</p> <p>(育苗・移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 早生水稻(夢つくし、コシヒカリ) 早期水稻の田植えは平年並で、5月15日までに終了(最盛期は4月下旬)。5月上旬の強風により、活着はやや遅れ、葉先の傷み等が一部で見られる。 (2) 普通期水稻(夢つくし、元氣つくし、ヒノヒカリなど) 現在、6月上中旬植えの播種及び育苗作業が行われている。田植えは、「夢つくし」で6月上中旬、「元氣つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。「実りつくし」の田植えは6月中旬の見込み。 (福岡県農林業総合試験場 5月14日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元氣つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元氣つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまきん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。
宮 崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>(生育)</p> <p>早期水稻は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月26日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みそ350」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月5日～7月4日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温と降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、早期栽培において収量水準の高い「なつほのか」が増加傾向であり、「コシヒカリ」との価格差も小さいことから今後も移行が進むことが予想される。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和3年6月4日 14時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で表している。

引用資料:

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月20日)、
作況報告(5月31日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月2日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県)(5月27日)、
令和3年産水稲の田植状況について(5月27日現在)(宮城県 5月28日)、
令和3年産美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月2日)、
令和3年産気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか) 6月2日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月4日閲覧)、
酒田・飽海米づくり情報第4号(酒田農業技術普及課 6月2日)、
おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁 6月3日)、
稲作だより第5号(最上支庁農業技術普及課 5月19日)、
主要な農作物の生育情報令和3年度第2号(福島県農林水産部 5月20日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月3日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県 6月3日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第1号)(新潟県 6月1日)、
岩船米生育速報(5月31日現在)(村上農普及指導センター 5月31日)、
コシヒカリ生育情報第1号(魚沼農業普及指導センター 5月31日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.1(5月31日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月1日)、
令和3年度稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター 5月31日)、
TACS情報第2号(富山県 6月1日)、
令和3年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月31日)、
令和3年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月27日)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所 6月4日)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 5月14日現在)、
令和3年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月26日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日広島地方気象台)、
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(6月3日鹿児島地方気象台)、

北海道地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日札幌管区気象台)、東北地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日気象庁)、
北陸地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日大阪管区気象台)、中国地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日広島地方気象台)、
四国地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう3か月の天候の見通し(5月25日鹿児島地方気象台)、

令和3年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月23日)